つむじ風の家

つむじ風の様に親子がお互いに惹かれ合い、
周囲の環境を巻き込みながら、優しく混ざり
合う住まいの提案。

1 家族構成

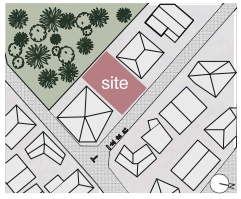
都内から夫が転勤となり、引っ越すこととなった四人家族。狭苦しい生活から離れた、ゆったりとした生活を望んでいる。

夫（36）：会社員
妻（34）：パート
息子（6）：小学１年生
娘（3）：幼児

2 敷地

京都府のとある住宅街。道路と緑ある丘に挟まれた場所を敷地とする。

道に面したアプローチ側では地域との交流が生まれ、緑豊かな丘側では家族が気兼ねなく寛げる庭となる。



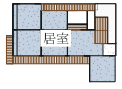
3 子供と自然な関係を生み出す住宅

共働きの家庭が増えていく中、子育ての時間その他の時間の両立が難しい現状にある。それは各居室の繋がりが薄いことに原因があるのではないか。

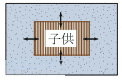
子供を中心とした住居空間を構成し、子供と自然な繋がりを生み出す住宅を提案する。

3.1 子育てを豊かにする「中央空間」

中央に子供の居場所を配置する。それにより、子育てにおいて自然なコミュニケーションが取りずらい現状を解消する。



従来は、各居室ごとの関係性が薄く子供との距離感も離れている。



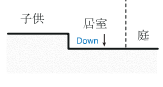
子供の居場所を中心に配置し、各居室から常に接点が生まれる。

特徴づけた庭を取り巻くことで、子供にとって様々な関わり方が生まれる。

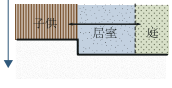
3.2 子育てを豊かにする「内土間」

居室空間を各庭に開いた土間空間に置き換える。それにより、各居室空間が内部と外部を繋ぐ役目を持ち、家族間の自然な関わり合いが生まれる。

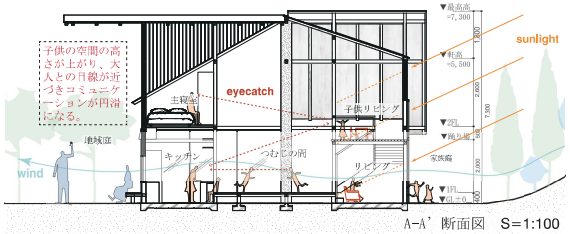
一般的な住宅は居室と子供の居場所が同じレベルにある。



居室空間を土間空間に置き換える。

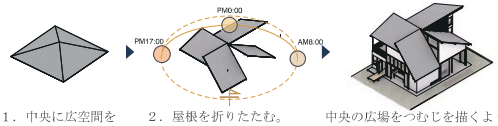


各居室が内部と外部を繋ぎ、家族全員が自然と関わり合う。



A–A’ 断面図　S=1:100

4 家族を紡ぐ４面片流れ屋根

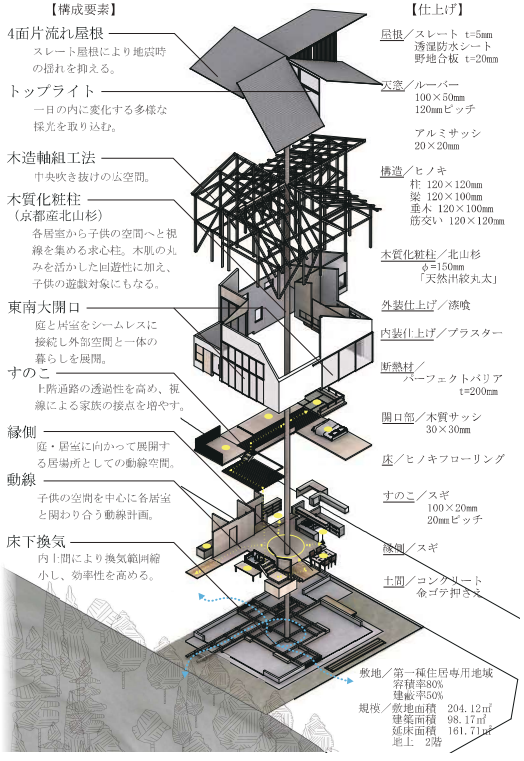


１．中央に広空間をつくる方形屋根。

２．屋根を折りたたむ。外部に対して隙間を設け、光と風の通り道をつくる。

中央の広場をつむじを描くように風が抜け、一日を通して空の表情が移り変わる。夏場は涼しく、冬場は日を取り込む。

5 構造ダイアグラム



家族を繋げるつむじの間。家族全員が自然と関わりあう。

家族庭と連続して繋がるリビング空間

住宅全体を見渡せる子供リビング

書斎から子供や地域の人と繋がる小窓

家族だけで過ごせるフレキシブルな空間

窓沿いに腰をかけながら地域庭と繋がる

寝室の小窓から１階を見渡せる

東側立面図　S=1:100

北側立面図　S=1:100